

滋賀県近江八幡市
伊崎国有林

カワウと人の

共生の森

プロジェクト



～ カワウと共生できる森づくりをめざして ～

伊崎国有林について



知る

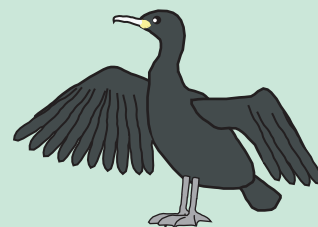
伊崎国有林は、滋賀県近江八幡市の琵琶湖東部に位置する半島（伊崎半島）にあります。

森の半分以上はヒノキの人工林になっており、残りの半分はコナラやシイ類などの広葉樹が生育しています。

また、伊崎半島一帯は琵琶湖国定公園にも指定されており、風光明媚な森林景観を期待されている地域でもあります。



カワウってどんな鳥？



- 体長 約80cm
- 体重 約2kg
- すんでいる場所
川、湖、池、海の近くなど。琵琶湖には年中すんでいます。
- 食べもの
水の中にもぐって魚をつかまえます。10m近くもぐることもあります。
- 繁殖期
伊崎国有林では1月ごろから巣づくりがはじまり、9月ごろまで続きます。ピークは3月～7月です。繁殖期になると、オスもメスも頭や腰が白くなります。
- 産卵、子育て、ねぐら
集団で巣づくり・子育てをおこなう場所（コロニー）をつくります。繁殖期以外にも、集団で休む場所（ねぐら）をつくります。



繁殖期のカワウ→

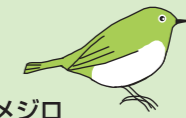
伊崎国有林での取り組みへ

OPEN!

～伊崎国有林での取り組み～

伊崎国有林は、カワウによる森林への影響度合いに応じて3つの区域（カワウの被害から守る森、カワウ被害植生回復の森、カワウが生活できる森）に分かれています。各区域には現状に応じた対策目標が設定されており、区域別に森林管理・植生回復対策・カワウ抑制対策などに取り組んでいます。

伊崎国有林では、カワウ以外にもメジロやヒヨドリなど、たくさんの鳥たちが暮らしています。



メジロ

目のまわりは白く、体は黄緑色。
えだ先をちょろちょろせわしなく動きます。



ヒヨドリ

体は灰色で、ほおは赤。
ピーヨ、ピーッなどと鳴きます。

追いつきの実施



「カワウの被害から守る森」に拡大しそうなコロニーを対象に、木の幹を木づちでたたいてカワウを追いはらっています。

営巣状況の調査



日々変化するカワウの営巣状況に対応した対策をおこなうため、月に一度、カワウの巣の調査を実施しています。



コサギ

体全体が白く、足の先が黄色いサギのなかま。

カワウのコロニー付近の入り江では、サギの群れを観察することができます。



カワウ被害植生回復の森

過去にカワウの営巣により被害を受けた区域で、今後はカワウの営巣を防止しながら植生の回復を図る区域

カワウの被害から守る森

現在までカワウの影響がなく、今後もカワウの営巣を防止したい区域

伊崎山頂 (210.4m)

大規模なカワウコロニー

カワウが生活できる森

カワウの生息をある程度許容し、今後カワウの営巣を抑制・管理しつつ森林の維持に努める区域

展望ポイント

NPO法人ヒマラヤン・グリーンクラブ
森林整備箇所

国有林入口

←至休暇村近江八幡

至県道25号



100m

苗木の育成



カワウの影響により枯れてしまったヒノキ林の伐採跡地に苗木を植栽し、下刈りなどの整備をおこなっています。

遊歩道の整備



遊歩道を人が歩くことによって遊歩道の近くのカワウが巣を作るのを嫌がる効果を期待し、カワウを「カワウが生活できる森」へ誘導できるように場所にハイキングコースを整備しています。



カワウによる森への影響



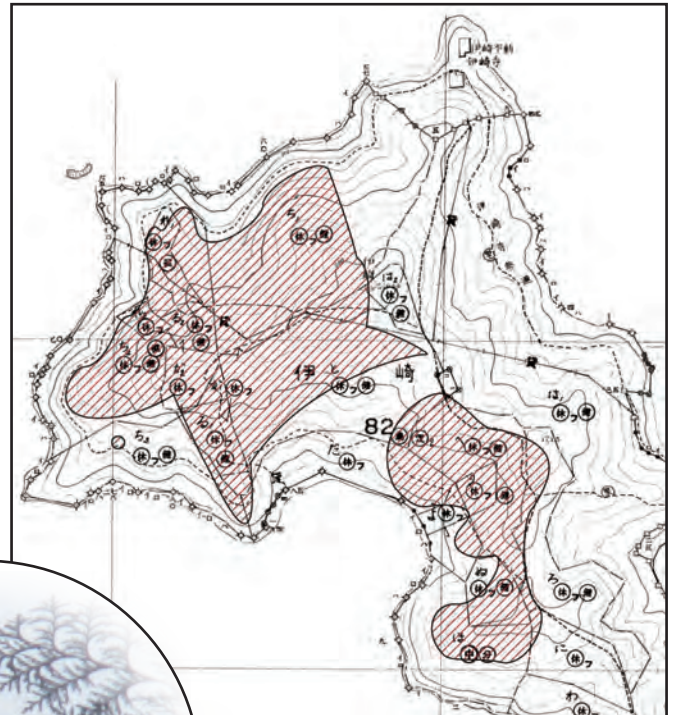
伊崎国有林では1988年（昭和63年）ごろにカワウの巣が30~40個発見され、2008年（平成20年）までの約20年でその分布が急速に拡大してきました。

カワウは集団で子育てをしたりねぐらをつくります。そのため、巣づくり用に枝を折られたり、フンが大量にかかることで、枯れてしまう樹木が目立つようになりました。

1996年（平成8年）の時点では、伊崎半島の北西斜面が被害の中心でした。その後、巣をかけられた樹木が枯れるにつれてカワウの営巣場所が移動し、2008年では半島南部の湾岸地域や山の頂上付近の樹木が主な被害を受けています。



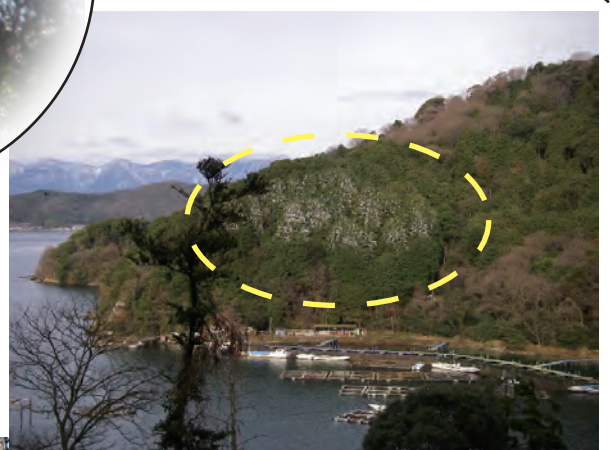
1996年(平成8年)の巣の分布



2000年(平成12年)の巣の分布



2008年(平成20年)の巣の分布



↑カワウのフンで白くなったヒノキ林

←カワウの集団営巣により枯れてしまったヒノキ

カワウと共生できる 森づくりをめざして…

守る



伊崎国有林では、年々増加するカワウの営巢による森林被害に対し、さまざまな対策を講じてきました。それとともに、カワウとの共生のあり方についても、専門家や関係者の間で議論を重ねています。

また、ほかの地域で同じような森林被害になやむ関係機関との情報交換も積極的におこない、伊崎国有林だけにとどまらない広域的な対策についても検討しています。

伊崎国有林では、カワウと共生できる森づくりを目指し、今後も一歩ずつ取り組んでいきます。



苗木の植樹作業

専門家を交えた対策の検討



苗木の防除

樹勢の調査



植生調査



林野庁 滋賀森林管理署

〒520-2134

滋賀県大津市瀬田三丁目40番18号

Tel 077-544-3871 Fax 077-544-3867

E-mail kc_shiga@rinya.maff.go.jp

ホームページ <http://www.kinki.kokuyurin.go.jp/shiga/>